

■米国：Rocky Mountain Power 社、住宅用蓄電池による米国最大の DR を開始

2019 年 8 月 27 日付のエネルギー専門誌によると、ユタ州の地元電力会社である Rocky Mountain Power (RMP) 社は、蓄電池と太陽光発電を用いた集合住宅でのデマンドレスポンス (DR) を 9 月より運用する。このプロジェクトは、ドイツの蓄電池企業 Sonnen 社と提携し、新たに開発される 22 棟、600 世帯の団地において、5,200kW の太陽光発電と 1 万 2,600kWh の蓄電池を導入し、同社が蓄電池を仮想発電所 (VPP) として運用するものである。蓄電池は、全世帯に設置され、太陽光パネルは各棟の屋根に設置される。プロジェクトの総コストは 3,430 万ドルで、このうち、1,200 万ドルが蓄電池の設備費用である。RMP 社は 330 万ドルを拠出し、残りの 3,100 万ドルはコミュニティの開発者である The Wasatch グループが拠出する。RMP 社は、「自社だけではこのプロジェクトは実現できなかった」とコメントしている。また、「このプロジェクトを通じて、需要家側 (BTM) 蓄電池のアグリゲートや VPP 運用手法などを習得することができ、将来自社エリア全体に適用していくことができるようになる」ともコメントしている。